

# 岡山市都市計画マスタープラン（改定原案）に対する パブリックコメント（意見募集）の結果について

## 1. 意見募集の概要

募集期間	平成31年1月7日（月）から平成31年2月6日（水）
閲覧場所	都市計画課、情報公開室、各区役所（総務・地域振興課）、各支所（総務民生課）、各地域センター、本市ホームページ
意見の提出方法	電子メール、ファクス、郵送、持参、ホームページ上での入力
意見の提出先	岡山市都市整備局都市・交通部都市計画課

## 2. 意見募集の結果

（1）意見提出者数 40人

（2）意見項目数 93項目

### <内訳>

区分		意見項目数
計画全体		12
第1章	はじめに	0
第2章	現状と動向	5
第3章	都市づくりの課題	2
第4章	都市づくりの基本方針	4
第5章	分野別の基本方針	70
第6章	計画の実現へ向けて	0
合計		93

No	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	全体	岡山の観光地の認知度は低い。観光や景観の恵まれているものを、もっと県外に発信していく必要がある。	ご意見を参考に、今後も岡山市の魅力など様々な情報の発信に努めてまいります。
2	全体	第4章や第5章の基本方針や目標、対策などに対して、具体的に対象となる場所や達成の時期を明確化してもらいたい。	都市計画マスタープランは、都市づくりの方針を総合的かつ体系的に示すものであり、個別具体的な事業について場所や整備時期等を示すものではありません。個別事業については、個々の事業計画等に基づき実施してまいります。
3	全体	グラフ等について、新元号が発表されたら修正すべきではないか。	新元号の対応については、ご意見も踏まえて、今後検討させていただきます。
4	全体	市のバランスの取れた発展のためには、経済・産業発展も重要な柱と考えられるため、その観点からの都市計画への反映が少なく感じる。(各論的には具体的な整備構想や規制の見直しなど) 検討委員会のメンバーに産業界を入れることを今後検討していただきたい。	都市計画マスタープランは、経済・産業も含めた総合的な指針である第六次総合計画に即し、都市計画の基本となる土地利用や都市施設などの全体的な方針を定めるものであり、具体的な整備構想などを定めるものではありません。産業振興等に関する土地利用面では、産業政策との整合を図りつつ、クロスポイントとしての特徴を活かして、産業の集積や活性化を図ることとしており、産業政策上の位置づけや具体的な整備構想・計画の実現性が明確になった段階で、農林漁業との調和を図りつつ、区域区分や地区計画など具体的土地利用の変更に着手できる方針としております。また、検討委員会については、都市計画審議会を中心に都市計画マスタープランの改定を検討しているところです。
5	全体	岡山市のアクセスの良さや都市機能の充実を宣伝するなど、人口を増やす対策が必要ではないか	ご意見を参考に、今後も岡山市の魅力など様々な情報の発信に努めてまいります。
6	全体	人口の減少を印象付ける記載であるが、岡山の特性を活かして人口増加を目指さないのか。人口減少を念頭に都市縮小を検討することは消極的すぎて、行政の考え方を否定する。	本市の最上位計画である岡山市第六次総合計画において、本市の人口は平成32年をピークに減少に転じる見通しとしており、都市計画マスタープランは、その人口予測を前提にしつつ、人口減少や高齢化が進む中にあっても、持続的に発展する交流拠点都市岡山を目指そうとするものです。コンパクトでネットワーク化された都市づくりとは、都市の縮小に主眼を置くものではなく、持続性を高めるために一定の密度を確保しつつ、公共交通を軸に適切な市街地の再編を図ろうとするものです。
7	全体	岡山は通過点となっており、交通の要所となるような取り組みを行ってほしい。	都市づくりの基本理念として、「人とまちが健幸で、持続的に発展する交流拠点都市 岡山」を掲げており、ご意見を参考に、より一層の拠点性の向上に努めてまいります。
8	全体	高齢者のことばかりでなく、働き手や子供にもっと目を向けるべきではないか。	都市づくりの基本理念として、「人とまちが健幸で、持続的に発展する交流拠点都市 岡山」を掲げ、人口減少・超高齢社会においても、若年者から高齢者まで誰もが「すやかに」「しあわせに」暮らすことができる交流拠点都市を目指してまいります。
9	全体	全国的な都市計画との違いが分からない。クロスポイントという岡山の特色を活かせる工夫が必要で、岡山駅にベンチを置いたり、後樂園などの観光名所の宣伝や案内などを行ってはどうか。	都市計画マスタープランでは、広域交通網のクロスポイントという特徴を活かして、都市づくりの基本理念として、「人とまちが健幸で、持続的に発展する交流拠点都市 岡山」を掲げており、ご意見を参考に、岡山駅等の交通結節機能の強化を含め、より一層の拠点性の向上に努めてまいります。
10	全体	専門用語が多く理解しにくい。現状とそこから解決すべき課題が容易に認識できるプロセスで構成すべき。	用語については、用語集を添付するなどの対応を行います。また、計画策定のプロセスについては、今後の各種計画づくりを行う上での参考とさせていただきます。
11	全体	クロスポイントに位置するが、駅は単に利用するだけとなっており、駅に様々な広告を掲載するなど、特性を活かして経済の発展を図るべき。	都市計画マスタープランでは、広域交通網のクロスポイントという特徴を活かして、都市づくりの基本理念として、「人とまちが健幸で、持続的に発展する交流拠点都市 岡山」を掲げており、ご意見を参考に、岡山駅等の交通結節機能の強化を含め、より一層の拠点性の向上に努めてまいります。
12	全体	人が暮らしやすい社会を創るために、利便性の高い都市を作るだけでなく、それと同時に水や緑など都市環境を守り、循環型社会の構築、都市景観の保全など様々な方向から都市計画に考える必要がある。	都市計画マスタープランでは、分野別に「土地利用の方針」「都市交通の方針」「水と緑・都市環境の方針」「市街地・住環境の方針」「都市景観の方針」「都市防災の方針」「その他の都市施設の方針」として、様々な方向から都市計画に関連する方針を検討しております。

No	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方
13	現状と動向	第2章(9)市街化調整区域の開発許可件数が多いと都市計画にどう影響するのかわからない。	今後、人口減少が進むと予測される中で、市街化調整区域への無秩序な開発が進めば、空き家や空き地の増加など市街地の空洞化がより一層顕著となる恐れがあり、市街化調整区域の開発の適切な運用を検討する必要があると考えております。なお、第3章に都市づくりの課題において、その影響と取組の必要性等を取りまとめております。
14	現状と動向	市街化調整区域の開発が他市と比べて圧倒的に多いが、表面的にしか伝わらないので、市街化調整区域の決定基準など説明を加えてもらいたい。	市街化調整区域については、「市街化を抑制する」という市街化調整区域の理念のもと、優良農地や自然環境等の保全を原則としておりますが、自己用住宅や日常生活利便施設などの、地域の利便性の向上や活性化等に資する一定の開発は可能となっております。今後、コンパクトでネットワーク化された都市づくりに向け、市街化調整区域では、無秩序な開発を抑制しつつ、中山間等の集落地域などでは、集落活性化に資するよう市街化調整区域の開発許可制度の適切な運用等について検討したいと考えております。
15	現状と動向	路線バスの廃止路線数や豪雨災害と復興の状況などが分からないか。	路線バスの廃止区間の概要については、都市計画マスタープランのP24に掲載しております。なお、本市では、平成30年9月に「岡山市総合交通計画」を策定しており、より詳しい状況を記載しておりますので、岡山市ホームページよりご覧ください。また、豪雨災害についても、岡山市ホームページにより情報発信しておりますのでご確認ください。
16	現状と動向	第2章(7)都市計画道路の整備率とは何の割合か分かり難い	都市計画道路の整備率とは、都市計画決定された全都市計画道路の内、整備が完了した路線の延長割合です。なお、都市計画の決定状況や整備状況については、岡山市ホームページからご確認ください。
17	現状と動向	老年人口の高い町と合併したため、市全体の高齢化率が上昇したと感じる。周辺の町と合併を繰り返した歴史を取り上げるべき。	市町村合併の状況は、都市計画マスタープランのP8に掲載しております。本市は、昭和50年の藤田村との合併後、平成の大合併により、平成17年に御津町、灘崎町と、平成19年に建部町、瀬戸町と合併しております。
18	課題	第3章2(8)の効率的・効果的な市民サービスの向上とあるが、アバウトで第4章以降で何が市民サービスの向上につながっているのか分かりにくい。	良好な市街地形成や公共交通の利便性向上など、総合的な取り組みにより、効率的・効果的な市民サービスの向上が図られると考えております。
19	課題	九州や近畿の方は岡山を通過点と見ている人が多く、第3章の「クロスポイント」という言葉は通過点のイメージを助長するのではないかと。拠点性や高次都市機能の集積を表現するなら「ターミナル」の方がふさわしい。	クロスポイントは、広域交通網が交差する地域という本市の特徴を示す言葉として使用しております。この特徴を活かして、都市づくりの基本理念に示す、「人とまちが健幸で、持続的に発展する交流拠点都市 岡山」を目指すこととしております。
20	基本方針	「未来へ躍動する桃太郎のまち岡山」や「マスカット型都市構造」など、地域性のあるキャッチコピーは、好感が持てる。	ご意見を参考に、今後も分かりやすい情報発信など、良好な都市づくりに努めてまいります。
21	基本方針	基本方針の期限などを設け、具体的な記載をすべきである。	都市計画マスタープランは、都市づくりの方針を総合的かつ体系的に示すものであり、長期的な視点に立って、21世紀中頃を念頭に描きつつ、概ね20年後の都市の姿を展望し平成50年を目標としております。なお、この方針に基づく個別事業については、個々の事業計画等に基づき実施してまいります。
22	基本方針	第4章1について、「中四国をリードし、活力と創造性あふれる経済・交流都市」とあるが、基本目標1～3は他県との協力や交流について記載されておらず、他県との交流も含めた基本目標が良いのではないかと。	ご意見の内容は、平成27年度に策定済みの本市の第六次総合計画(長期構想)に関することと思われませんが、都市計画マスタープランにおいては、他県との交流のみならず、国内外に開かれた活発な交流を通じて、中四国の発展をリードする拠点都市を目指すこととしております。

No	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方
23	基本方針	第3章の課題が第4章の方向性では2つの方針となっており、将来都市構造だけでは、市民にどのようなメリット・デメリットをもたらすのかわからないので、より詳しく図などで説明が必要では。	都市空間形成の基本方向は、第六次総合計画に示された内容を踏襲しております。 今後、将来都市構造を実現するための実行戦略となる立地適正化計画を策定する予定としており、その策定に当たっては、ご意見を参考に、よりわかりやすい表現等を検討してまいります。
24	分野別方針	第5章で、どの分野も大きな目標を掲げているが、これから本当に達成できるのか、財政や資源、労働力も限られてくる中で、予算や労働力、時間を費やす余裕があるのか疑問である。仮に達成できても、有意義に活用されるのかも疑問である。選択と集中を意識した基本方針を立てるべきである。	都市計画マスタープランは、都市づくりの方針を総合的かつ体系的に示すものです。 この方針に基づく個別の事業に当たっては、ご意見を参考に、選択と集中を意識した事業の推進に努めてまいります。
25	土地利用	市街化調整区域の厳格化、開発許可を出さないようにしてほしい。	市街化調整区域については、市街化を抑制するという市街化調整区域の理念のもと、無秩序な開発の進行を防止するとともに、集落活性化にも資するよう、開発許可制度の適切な運用を検討したいと考えており、ご意見を参考にさせていただきます。
26	土地利用	中国運輸局岡山支局の立地を認めたのか疑問。周辺に自動車関連事業者の立地ができず、関連事業者のことも配慮すべきではなかったか。	市街化調整区域については、「市街化を抑制する」という市街化調整区域の理念のもと、優良農地や自然環境等の保全を原則としておりますが、自己用住宅や日常生活利便施設などの、地域の利便性の向上や活性化等に資する一定の開発は可能となっております。 今後、コンパクトでネットワーク化された都市づくりに向け、市街化調整区域では、無秩序な開発を抑制しつつ、中山間等の集落地域などでは、集落活性化に資するよう市街化調整区域の開発許可制度の適切な運用等について検討したいと考えております。
27	土地利用	市街化調整区域の開発件数が多いのは、調整区域が多すぎるのが原因ではないか。調整区域の面積割合は指定都市上位であり、その事実を秘して件数をクローズアップするのはどうか。	本市は農業都市として、児島湾の干拓地を始め、農地を主体に広く市街化調整区域が指定され、その面積は政令指定都市でも上位であることは事実ですが、他都市と比べて開発行為が全体的に多いこと、また、市街化区域周辺に集中して行われていることなどから、調整区域全体の面積と直接的な因果関係があるとは考えておりません。 都市計画法では、市街化調整区域は市街化を抑制する区域とされており、また今後、人口減少が進むと予測される中で、市街化調整区域への無秩序な開発が進めば、空き家や空き地など市街地の空洞化がより一層顕著となる恐れがあり、市街化調整区域の開発の適切な運用を検討する必要があると考えております。
28	土地利用	都市計画の基本方針の「コンパクトでネットワーク化された都市づくり」は、人口減少が予測される中、基本的には妥当と考えるが、それだけでは、「戦略な発想がなく消極的」と思われる。人口減少は一律ではなく、岡山市はポテンシャルが高く人口増加も見込まれるため、市街地の集約化はいいが、土地の需要・発展が見込まれる区域については市街化区域に組み込んでよいのではないか。	今回の都市計画マスタープランの改定では、人口減少が想定される中、従来からの「原則として市街化区域を拡大しない方針」を踏襲しておりますが、一方で、拠点周辺や主要な駅周辺の地区など、コンパクトな市街地形成にとって真に必要な場合は市街化区域の編入や、将来的に市街化が見込めない地区等の市街化調整区域への編入も可能となる考え方を追加しております。 今後、この方針に基づき、農林漁業との健全な調和のもと、市街化区域の再編等についても検討していきたいと考えております。 また、産業の振興を図るうえで、その規模や位置が必要と認められる産業・物流系市街地については、整備の見通しが明らかになった段階で、農林漁業との調整のもと、必要に応じ市街化区域への編入を図る方針としております。
29	土地利用	南区役所周辺は、南区の中心地区として市街化区域に編入し、計画的な都市計画をすべきではないか。	今回の都市計画マスタープランの改定では、人口減少が想定される中、従来からの「原則として市街化区域を拡大しない方針」を踏襲しておりますが、一方で、拠点周辺や主要な駅周辺の地区など、コンパクトな市街地形成にとって真に必要な場合は市街化区域の編入や、将来的に市街化が見込めない地区等の市街化調整区域への編入も可能となる考え方を追加しております。 今後、この方針に基づき、農林漁業との健全な調和のもと、市街化区域の再編等についても検討していきたいと考えております。

No	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方
30	土地利用	岡山西警察署、岡山西消防署周辺は大型商業施設が立地している。市街化区域に編入すべき。	今回の都市計画マスタープランの改定では、人口減少が想定される中、従来からの「原則として市街化区域を拡大しない方針」を踏襲しておりますが、一方で、拠点周辺や主要な駅周辺の地区など、コンパクトな市街地形成にとって真に必要な場合は市街化区域の編入や、将来的に市街化が見込めない地区等の市街化調整区域への編入も可能となる考え方を追加しております。 今後、この方針に基づき、農林漁業との健全な調和のもと、市街化区域の再編等についても検討していきたいと考えております。
31	土地利用	公共施設もその立地により市街化を促進する。国立病院岡山医療センターは市街化調整区域に立地しており、速やかに市街化区域に編入すべき。	今回の都市計画マスタープランの改定では、人口減少が想定される中、従来からの「原則として市街化区域を拡大しない方針」を踏襲しておりますが、一方で、拠点周辺や主要な駅周辺の地区など、コンパクトな市街地形成にとって真に必要な場合は市街化区域の編入や、将来的に市街化が見込めない地区等の市街化調整区域への編入も可能となる考え方を追加しております。 今後、この方針に基づき、農林漁業との健全な調和のもと、市街化区域の再編等についても検討していきたいと考えております。
32	土地利用	50戸連担制度の見直し及び市街地規模に触れているが、それ以前に線引き制度の見直しを考えるべきではないか。	区域区分については、無秩序な市街地の拡大を抑制しつつ、農林漁業との健全な調和などのもと、コンパクトでネットワーク化された都市構造に資する市街化区域の再編を図る方針としており、今後、具体的な開発許可制度の適切な運用と、市街化区域再編について検討していきたいと考えております。
33	土地利用	岡山環状道路(都市環状軸)の沿線で、市街化調整区域が多く事業拡大の障壁となっているため、都市環状軸沿線を全てを市街化区域に変更してもらいたい。また、都市環状軸の内側で下水道の整備もした方がよいのではないかと。	今回の都市計画マスタープランの改定では、人口減少が想定される中、従来からの「原則として市街化区域を拡大しない方針」を踏襲しておりますが、一方で、拠点周辺や主要な駅周辺の地区など、コンパクトな市街地形成にとって真に必要な場合は市街化区域の編入や、将来的に市街化が見込めない地区等の市街化調整区域への編入も可能となる考え方を追加しております。 今後、この方針に基づき、農林漁業との健全な調和のもと、市街化区域の再編等についても検討していきたいと考えております。 また、下水道については、汚水処理未普及人口の早期解消に向け、公共下水道や合併処理浄化槽、農業集落排水等と適切な役割分担のもと、総合的な汚水処理対策を推進することとしており、今後、下水道アクションプランに基づき、公共下水道の計画的な整備を行ってまいります。
34	土地利用	災害が少なく安全で住みやすい都市だけでなく、都心近くに団地を作り、バスや鉄道で繋ぐなど、人が集まる施策が必要である。	今後の人口減少下では、宅地や建築物、交通施設などの既存ストックを都市の資源として有効に活用し、既成の市街地内に人口や都市機能が集積したコンパクトな都市づくりにより、土地・建物の循環・再生を促すなど、都市の持続性を高めることが重要と考えております。
35	土地利用	防災について、危険な場所に人を住まわせないようにしてもらいたい。	防災上危険な区域については、市街化の抑制や居住の誘導などを検討すべきであると考えており、頂いたご意見は、今後、策定を予定している立地適正化計画の検討の際の参考とさせていただきます。
36	都市交通	吉備線LRT化について、早急に取り組んでもらいたい。	ご意見を参考に、JR桃太郎線のLRT化に向けて取り組んでまいります。
37	都市交通	岡山駅周辺は多様な開発により活気があるが、交通が集中しており容量を超えている。路線バスの減便や拠点を駅周辺でない場所にしないと、現状では駅前広場を無駄に使っている。	路線バスの効率的な運用や利便性の向上等については、バス事業者等関係者と協議しながら進めていくこととしております。
38	都市交通	ビジネスを活性化するためのスピーディな移動手段の必要性について記載しないのか。高速な公共交通機関に投資(複線化等)し、「世界を相手にスピード感のある事業展開が可能な都市」を目指して、企業や人材を集め、税収を確保するなど、自治体経営の視点からの説明をプランに入れてもらいたい。	鉄道複線化等については、鉄道事業者が需要を踏まえて判断するものと考えておりますが、市としては公共交通の利便性向上のための取り組みを、事業者とともに進めていくこととしております。

No	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方
39	都市交通	天満屋のバスセンターについて、狭小な道路をバスが走り危険であるとともに、回遊性を妨げている。柳川筋への移転などはできないか。民間施設であり、市ではどうすることもできないだろうが。	当該バスセンターは民間施設であることから、市による移転はできませんが、歩いて楽しい都心空間の創出と回遊性の向上に向けて、様々な取り組みを進めてまいりたいと考えております。
40	都市交通	岡山駅前広場への路面電車乗り入れ、JR吉備線のLRT化に賛成。ただし、路面電車の延伸は不可欠であり、環状化やJR北長瀬駅への延伸も必要ではないか。また、激しい渋滞対策と自動車依存の脱却のため、新たな鉄道も建設した方がよいのではないか。(国道2号バイパス近くにモノレールや新交通システム導入、津山線の路線変更など)	本市では、路面電車の岡山駅乗り入れや、JR桃太郎線のLRT化を目指すとともに、路面電車の延伸・環状化に向けた検討を進めることとしております。 また、鉄道、路面電車、路線バス、生活交通など様々な交通手段が相互に利用しやすい交通網の構築を図ることで過度に自動車交通に依存した交通体系から、人と環境にやさしい公共交通中心の交通体系へ転換したいと考えております。
41	都市交通	公共交通機関の時間当たり本数が少ない。	運行本数は、各事業者が需要を踏まえて判断するものと考えておりますが、市では公共交通の利便性向上に向けた取り組みについて、交通事業者とともに検討してまいりたいと考えております。
42	都市交通	岡山駅前に路面電車を導入するのは、とても良い案であるが、導入による渋滞対策等ははっきりしてもらいたい。	著しい渋滞が発生しないよう、関係者と検討してまいります。
43	都市交通	岡山駅で観光地の紹介をし、そこへの公共交通機関を利用した移動方法を紹介することで、岡山駅の拠点性が高まるのではないか。	ご意見を参考に、今後も岡山市の魅力など様々な情報の発信に努めてまいります。
44	都市交通	自動車を抑制し自転車、歩行者中心の生活を促進することは、これからの岡山において重要である。	過度に自動車に依存した交通体系から脱却し、人と環境にやさしく、誰もが移動しやすい公共交通を中心とした交通体系を目指します。
45	都市交通	ももちゃりは、登録の手間がかかり、回遊性の向上から通勤・通学に目的が変わっている	「ももちゃり」は、公共交通利用への転換・街の賑わい創出・本市のイメージアップを目的に運用しているところです。通勤利用者にも多く利用されておりますが、都市部における移動の利便性・回遊性の向上により、公共交通利用への転換や賑わい創出等に寄与しているものと考えております。
46	都市交通	自転車の走行空間の改善に取り組んでももらいたい。	現在、道路幅員や交通状況に応じた自転車走行空間の整備に取り組んでおり、今後も継続して取り組んでまいります。
47	都市交通	ももちゃりについて、夕方はポートに自転車がなくなることもあり、ストックを増やせれないか。	自転車ストックを増やす予定はございませんが、今後、よりサービス向上に向けて、利用状況や収支状況等を踏まえ、効率的な運用に努めてまいります。
48	都市交通	都心部に駐輪場が少ない。駅周辺だけでなく、少し外れの路上駐輪が目立つ場所などで、景観にも配慮し、ももちゃりポートや駐輪場の整備を提案する。	駐輪場については、多様な駐輪特性を勘案しながら、公共による施設整備に加え、民間による主体的な施設整備の促進とともに、放置禁止区域の拡大などによる施策連携を図ってまいります。 また、「ももちゃり」は今後も利用状況や収支状況等を踏まえながら、ポートの改廃を検討します。
49	都市交通	自転車について、安全にも配慮した専用道の増設の検討をお願いしたい。	現在、道路幅員や交通状況に応じた自転車走行空間の整備に取り組んでおり、今後も継続して取り組んでまいります。
50	都市交通	自転車が多い特徴を活かして、サイクリングのまち岡山のPRや、岡山駅前や周辺に自転車が走りやすい道路を整備するなど、特徴あるまちづくりを行うべき。	PRIについては、サイクリングマップ・駐輪場マップの作成や各種啓発活動を通じて引き続き情報発信に努めてまいります。 また、現在、道路幅員や交通状況に応じた自転車走行空間の整備に取り組んでおり、今後も継続して取り組んでまいります。
51	都市交通	子供を乗せられるレンタサイクルが少ないため、ももちゃりで対応できれば、子連れが観光者に便利になる。	頂いたご意見は、今後、施策を推進する際の参考とさせていただきます。
52	都市交通	ももちゃりについて、ポート間移動や観光ルートの指定や整備により、観光客にとっても利用しやすいものなるのではないか。	「ももちゃり」は、公共交通利用への転換・街の賑わい創出・本市のイメージアップを目的に運用しているところです。今後も、利用状況や収支状況等を踏まえ、より効率的な運用に努めてまいります。

No	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方
53	都市交通	岡山駅西口に比べて東口から北へ向かう道路について、自転車では通りにくく、整備が必要である。	現在、道路幅員や交通状況に応じた自転車走行空間の整備に取り組んでおり、今後も継続して取り組んでまいります。
54	都市交通	ももちゃりについて、利用者は見かけるが、赤字になっているのでは。利用者数の経年変化など効果的に機能しているのか示すべき。	現在、「自転車先進都市おかやま実行戦略」の中間評価を行っており、ももちゃりの効果についてはその中で公表する予定です。
55	都市交通	都心で買い物をする際に、駐輪場が無く不便を感じる事が頻繁にある。路上駐輪も減っておらず、要所要所に市民の重要な移動手段である駐輪場を整備すべきではないか。	駐輪場については、多様な駐輪特性を勘案しながら、公共による施設整備に加え、民間による主体的な施設整備の促進とともに、放置禁止区域の拡大などによる施策連携を図ってまいります。
56	都市交通	岡山市は自転車利用者が多く、自転車走行空間の整備やももちゃりポートの増設などを進めるべき。	現在、道路幅員や交通状況に応じた自転車走行空間の整備に取り組んでおり、今後も継続して取り組んでまいります。また、「ももちゃり」は今後も利用状況や収支状況等を踏まえながら、ポートの改廃を検討します。
57	都市交通	岡山は、大学や専門学校などの学生が多く自転車も多いので、駐輪場を増やしたり、路上駐輪の取り締まりを強化することで、景観対策にも繋がる。	自転車通行ルール等の指導・啓発に努めるとともに、駐輪場の整備、自転車走行空間の整備など、自転車利用環境の向上に取り組めます。
58	都市交通	自転車利用を促進している割には、駅周辺などで駐輪場が少ない。空表示のコインパーキングはあちらこちらに点在しているおり、いくつかを駐輪場に転換できれば、駐輪場不足が解消できるのではないか。	駐輪場については、多様な駐輪特性を勘案しながら、公共による施設整備に加え、民間による主体的な施設整備の促進とともに、放置禁止区域の拡大などによる施策連携を図ってまいります。また、都心に多く分散するコインパーキング等の小規模な低未利用地の集約化や利用転換の促進に取り組めます。
59	都市交通	駅近くで放置自転車がも多く、特に岡山駅東口では、人通りに対して駐輪場が少ないので、整備してもらいたい。	岡山駅東口では、駐輪ニーズを考慮した短時間駐輪施設の整備を行っております。今後も多様な駐輪特性を勘案しながら、公共による施設整備に加え、民間による主体的な施設整備の促進とともに、放置禁止区域の拡大などによる施策連携を図ってまいります。
60	都市交通	ももちゃりを推していくならば、現状は利用者が少ないと思うので利用状況を記載すべき。	「ももちゃり」は、現在全国トップレベルの利用状況です。また現在、「自転車先進都市おかやま実行戦略」の中間評価を行っており、ももちゃりの利用状況についてはその中で公表する予定です。
61	都市交通	ももちゃりの利用者数は、通勤での利用が多く、本来の目的である観光利用から離れており、駐輪場を整備する方が自転車利用に繋がるのではないか。	「ももちゃり」は、公共交通利用への転換・街の賑わい創出・本市のイメージアップを目的に運用しているところです。通勤利用者にも多く利用されておりますが、都市部における移動の利便性・回遊性の向上により、公共交通利用への転換や賑わい創出等に寄与しているものと考えております。
62	都市交通	道路が増加する自転車を円滑に運ぶ能力が無ければ、交通事故が発生する。自転車利用促進とあわせ、道路も自転車に対応できるようにすべき。	現在、道路幅員や交通状況に応じた自転車走行空間の整備に取り組んでおり、今後も継続して取り組んでまいります。
63	都市交通	トランジットゾーンだけでなく、中心市街地に自家用車で行かなくてよい対策を(パーク&ライド)	公共交通による中心市街地へのアクセスについては、パーク&ライド駐車場等の整備など、公共交通の利便性向上に取り組むこととしております。
64	都市交通	環状道路は、拠点を繋ぐ役割、都心を迂回させる役割、災害時の輸送など重要であり、早期に完成させるべきである。	環状道路は、都市の骨格となる主要な幹線道路であり、国と協力しながら、早期完成に取り組んでまいります。
65	都市交通	橋梁の老朽化対策は、災害の危険性が高まっており優先順位に応じて早急な対応が必要である。	老朽化した橋梁については、その緊急性に応じて計画的な対策に取り組んでまいります。
66	都市交通	環状道路を整備すると自動車への依存度が高まるのではないか。自動車依存度を下げる市の方針と矛盾している。	本市では、利便性の高い公共交通と円滑な自動車交通を効率的に組み合わせ、都心へのアクセス性に優れた、人と環境にやさしい、公共交通中心の交通体系への転換を目指しております。本市の道路網は、都心を中心として放射状に形成されており、環状道路の整備により、通過交通などの適切な分散・導入、及び市街地に不要な自動車交通を排除するとともに、バス交通の円滑化等に寄与すると考えております。

No	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方
67	都市交通	環状道路の整備は、交通負荷の低減や都心と周辺地域の結び連携軸となるが、自動車依存脱却にはつながらないのではないか。	本市では、利便性の高い公共交通と円滑な自動車交通を効率的に組み合わせ、都心へのアクセス性に優れた、人と環境にやさしい、公共交通中心の交通体系への転換を目指しております。 本市の道路網は、都心を中心として放射状に形成されており、環状道路の整備により、通過交通などの適切な分散・導入、及び市街地に不要な自動車交通を排除するとともに、バス交通の円滑化等に寄与すると考えております。
68	都市交通	歩いて楽しい街にしていくためには、自転車と歩行者を分けるなど対策が必要。	現在、道路幅員や交通状況に応じた自転車走行空間の整備に取り組んでおり、今後も継続して取り組んでまいります。
69	都市交通	路線バスについて、年間の廃止やコミュニティバス等に転換した路線の合計数を示した方が分かりやすい。また、路線バス等の公共交通機関の利用拡大について、検討していることを具体的に示すべき。	路線バスの廃止区間の概要については、都市計画マスタープランのP24に掲載しております。なお、本市では、平成30年9月に「岡山市総合交通計画」を策定しており、路線バスの状況や具体的な取り組みについて、より詳しい状況を記載しております。
70	都市交通	交通ネットワークについて、バス乗り場が多く迷いやすいので、案内板の増設、ダイヤ表示、多言語化、アナウンスなどを行なえないか。	誰もが利用しやすい環境を目指して、案内表示の拡充や多言語化、分かりやすい案内情報の提供に、事業者とともに取り組むこととしております。
71	都市交通	自動車依存を脱するのであれば、バスの利便性を高めるためにも、バスが何分遅れているのかが見ることができるよう改善すべき。	誰もが利用しやすい環境を目指して、案内表示の拡充や多言語化、分かりやすい案内情報の提供に、事業者とともに取り組むこととしております。
72	都市交通	岡山桃太郎空港リムジンバスの各社単独運行（岡山駅～、倉敷駅～のそれぞれ） 国道180号のバス増便とハレカ導入等	リムジンバスの運行形態やバスの増便、ハレカの導入はバス事業者が需要を踏まえて行っておりますが、市では利便性向上に向けた取り組みについて、バス事業者とともに検討していくこととしております。
73	水と緑・都市環境	岡山は水と緑がとても多い地域だと感じており、さらに街全体の緑を増やし、水辺の環境をよく見せるようなデザインを取り入れるべき。	都市生活に憩いと潤いをもたらす水と緑の空間づくりのため、公園や道路、河川など公共空間の緑化を推進するとともに、緑道や街路樹等による緑のネットワークを形成するなど緑の質の向上を図ります。
74	市街地・住環境	コンパクトシティを促進するためには、既存の住宅地の再利用を促進する強制的な施策も必要ではないか。（空き家に対する固定資産税の1/6優遇の廃止など）	「岡山市空家等対策計画」に基づき、老朽危険空家等の解消や空き家情報バンク、空き家の診断・リフォーム・除却に対する助成、空き家ビジネスの育成など空き家の適正な管理の促進に、引き続き取り組んでまいります。
75	市街地・住環境	都心の空洞化について、行政が積極的に関与し、空きビルやシャッター街の取り壊しや建て替えを進めることで、都市機能や居住の集積が促進される。	都心は、市街地再開発事業や容積率特例制度等を活用するなど民間開発や投資を効果的に誘導することにより、高次都市機能の集積を図り、魅力と活力ある都心に再生します。
76	市街地・住環境	中途半端な都心となっており、代表的な建築物や空間が不足している。	優良な民間開発を適切に誘導するため、容積率の見直しや、高度利用地区、総合設計制度、地区計画などの容積率特例制度の活用促進に取り組んでまいります。
77	市街地・住環境	都心で駐車場が占める敷地面積が15%と高くなっており、小規模な駐車場が多く存在するのは魅力の掛ける都市に繋がるため、別の使い方をすべきである。	都心部への自動車流入抑制や公共交通の利用促進など交通施策と連携した駐車需要の抑制、容積率特例制度や都市再生特別措置法による支援などの土地利用施策等により、都心に多く分散するコインパーキング等の小規模な低未利用地の集約化や利用転換の促進に取り組んでまいります。
78	市街地・住環境	空き家数が多いが、衛生面や災害時の倒壊など危険性が高いため、所有者に解体を求めるなど、減らしていくことが必要である。	「岡山市空家等対策計画」に基づき、老朽危険度の高い空き家から順次、所有者等に対して除却等を含めた空き家の適正な管理の指導を行っているところです。
79	市街地・住環境	都心には西川緑道公園など集い賑わう公共空間があるが、まだ効率的使える土地があり、このような空間を作ることで、コンパクトシティの実現にも繋がると思う。	楽しく歩け集える、道路や公園等の公共空間づくりを進めるとともに、空き地や空き家・空き店舗、駐車場等の低未利用地の利活用を促進するなど、公共・民間の魅力ある資源の連携により、賑わいと回遊性を高めます。
80	市街地・住環境	今後、人口減少、高齢化が進み、さらに空き家が増えていくなかで、有効活用できるのか。空き家を作らないようにする対策も必要である。	「岡山市空家等対策計画」に基づき、老朽危険空家等の解消や空き家情報バンク、空き家の診断・リフォーム・除却に対する助成、空き家ビジネスの育成など空き家の適正な管理の促進に、引き続き取り組んでまいります。



No	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方
81	市街地・住環境	大型店舗の郊外立地により商店街の歩行者数が減少しており、商店街を復興させることで、観光や都市景観を高めることにも繋がるのではないかと。地域住民による商店街の利用や活性化、イベントの実施、また、緑の配置などにより、魅力を向上が図られるのではないかと。	商店街沿道の事業者等と連携を図りながら、イベントの実施や安全で快適な歩行空間づくりを促進するなど、魅力ある都心空間の創出に取り組んでまいります。
82	都市防災	都市防災の方針について、岡山県自身が「晴れの国」と言われるほど、災害の少ない県であるので、ハード面の対策よりも、ソフト面の対策の重点化を図った方が良いのではないかと。	様々な災害から市民の生命と財産を守るため、災害を防ぐ“防災”に加えて被害を最小限に食い止める“減災”の考え方のもと、災害に強い都市基盤の整備や市街地を構築するとともに、共助の核となる地域での防災活動を支援し、安全で安心して暮らせる都市づくりを推進してまいります。
83	都市防災	ハザードマップについて、学区名でなく地名に変える改善や、駅への設置など防災意識の向上を図ってほしい。	国のガイドラインに合わせハザードマップの修正や配布場所を検討してまいります。
84	都市防災	駅など目を引く場所へのハザードマップ等の掲示や、分かりやすい場所への海拔の表示、避難情報の町名発表など、効果的な防災情報の周知により、災害の被害を減らすことが出来るのではないかと。	防災訓練や出前講座、津波・洪水・浸水(内水)・土砂災害等のハザードマップの配布や広報誌等での防災情報の周知により、防災意識の向上に取り組んでまいります。
85	都市防災	災害が少なく、防災意識が低い人が多いので、津波や河川氾濫の高さや時間を道路に掲示するなど防災意識の向上や、市民の意識調査による効率的、効果的な防災対策など、防災に関する記述を詳しくすべきではないかと。	防災訓練や出前講座、津波・洪水・浸水(内水)・土砂災害等のハザードマップの配布や広報誌等での防災情報の周知により、防災意識の向上に取り組んでまいります。
86	都市防災	現在住民がおり災害の被害を受ける可能性がある地域に対する対策など、コンパクト化の例外を具体的に明記すべき。	今後、マスタープランを実現化する実行戦略として「立地適正化計画」を策定する予定としており、頂いたご意見はその際の参考とさせていただきます。
87	都市防災	岡山は比較的災害が少ないため、防災意識や地域防災活動などソフト面が弱いと感じる。ハザードマップの配布や地域ごとの災害時対応などを具体化し、防災意識を高めるとともに、被害の最小化を目指す取り組みが必要である。	防災訓練や出前講座、津波・洪水・浸水(内水)・土砂災害等のハザードマップの配布等を通じて防災情報の周知や防災意識の向上に取り組んでまいります。また、地域で主体的に防災活動を行う地域防災リーダーの育成や自主防災会の結成など、地域防災活動の活性化を促進してまいります。
88	都市防災	平成30年7月豪雨で、水路に蓋や柵が無く危険を感じたので、今後、被害を小さくするためにも対策が必要ではないかと。	町内会等との連携により、道路や用水路の危険箇所を調査・把握し、通学路や用水路等の交通安全対策に取り組んでまいります。また、7月豪雨により浸水した避難所周辺についても、順次整備に取り組んでまいります。
89	都市防災	豪雨災害や南海トラフに対する防災について、詳しく対応すべき。道路に面している水路は、豪雨災害時に非常に危険なため、対策を検討してほしい。	防災については、第5章6都市防災の方針に記載しております。また、町内会等との連携により、道路や用水路の危険箇所を調査・把握し、通学路や用水路等の交通安全対策に取り組んでまいります。
90	都市防災	大学が多く県外からの人が多いので、災害への対策なども書いてほしい。	防災については、第5章6都市防災の方針に記載しております。
91	都市防災	水路数が多く、柵により安全性が保たれているものもあるが、狭くて深い用水路などは時に安全面での対策がなされておらず危険な状況である。	町内会等との連携により、道路や用水路の危険箇所を調査・把握し、通学路や用水路等の交通安全対策に取り組んでまいります。
92	都市防災	平成30年7月豪雨を踏まえた具体的対策を強化すべき。	岡山市浸水対策基本計画等に基づき、雨水管渠やポンプ場の整備、雨水流出抑制施設の設置促進等に加えて、豪雨災害を踏まえたハザードマップの見直し、土のう配布、水防備蓄資材等の支援など、ソフト対策の充実に取り組んでまいります。
93	都市防災	上水道の民営化は、災害時の復旧などを考えると不安である。	都市計画マスタープランでは、ご意見を頂いた上水道の民営化に関する記載はありません。